

平成28年度 第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日 時：平成28年8月18日（木） 14：00～16：40
- 場 所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師26名

目 的

- ・今、求められている道徳教育の最新の動向について理解を深める。
- ・各学校における道徳教育の取組や課題を交流し、改善策を明らかにする。
- ・各学校における改善策や「特別の教科 道徳」で求められている質の高い指導方法を取り入れた学習指導案の作成を通して、今後の道徳教育の充実を図る。

講話 「今、求められる道徳教育について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成



【講話の概要】

- 小中学校学習指導要領が一部改訂され、「特別の教科 道徳」が位置付けられた背景として、いじめや自殺などによる痛ましい問題、子供たちを取り巻く家庭や地域の変化などが挙げられる。
- 子供たちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うためには、道徳的価値に迫る読み物の活用や、問題解決的な学習、道徳行為に関する体験的な学習など、質の高い多様な指導方法を取り入れた授業を各校において展開する必要がある。

テーマ別課題演習 「各学校における道徳教育の取組について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成



【テーマ別課題演習の概要】

- 「特別の教科 道徳」が目指す授業展開の開発・実践について、議論を生むような発問が大切であること、子供たちの発言を効果的に切り返し、道徳的価値を深めるための方策について、実践を基に交流した。
- 「私たちの道徳」の活用では、改訂に伴って、新たに加筆された資料をどのように活用するかについて話し合った。
- 地域教材資料の開発・活用・改善については、各学校で実践している資料について、「地域教材開発の手引き」（広島県教育委員会）を基に見直しを行った。

演習 「各学校における改善点や『特別の教科 道徳』で求められる質の高い指導方法を取り入れた学習指導案の作成について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成
庄原市立高野小学校 教 諭 松園 聡



【資料分析の必要性について】（松園教諭より）

○道徳の時間の授業を創る際には、資料分析が非常に重要になってくる。指導者の資料分析が十分でない場合、道徳的価値を深めることができない。そのため、高野小学校では、資料分析シートを活用し、資料分析を構造的に行っている。また、複数の出版社から資料が出版されている場合は、言葉（助詞、接続詞等）の使われ方、挿絵等を比較し、児童にとってより有効なものを選択するようにしている。



【演習の概要】

○3つの資料を用い、グループごとに、各学校における改善点や『特別の教科 道徳』で求められる質の高い指導方法を取り入れた学習指導案の作成を行った。

【使用した資料】

- ・小学校第1学年 「二わのことり」
(光文書院)
- ・小学校第6学年 「ある日のスーパーで」
(広島県教育委員会)
- ・中学校第2学年 「遠足」(教育出版)

○学習指導案作成をグループで行うことで、これまでの道徳の時間の授業の課題を見直した。そして、より児童生徒が、考え、議論し、ねらいを達成するために、どのような学習展開が適切か、どのような学習方法を取り入れるか、資料をどのように提示するか等について、具体的な授業をイメージしながら学習指導案を作成した。

受講者の感想より

- 質の高い多様な学習方法について、実際の学習指導案を考える中で、授業のイメージをもつことができた。
- 実際の学習指導案を書くことで、授業の工夫について考えることができた。協議をする中で、様々な考え方が分かり実践として取り組んでいきたいと思った。
- 道徳教育推進教師として何を、どのように、何からしていけばよいか分からず、不安ばかりだったが、グループ協議からたくさんの改善案をいただいた。まずは自分がもう一度、研修内容を整理し、理解を深める必要があると感じた。